

ちひろカレンダー普及推進ニュース

発行:原水爆禁止日本協議会 電話:03-5842-6031
Eメール:antiatom55@hotmail.com

2015年
12月24日

80人以上から募金7万9852円！ 「訴えれば応えてくれます」ー山口逸郎さん

被爆70年のことし40年ぶりに製作された国民平和大行進のDVD「一歩でも二歩でも」のプロデューサーの山口逸郎さん(写真)から、被災地カレンダー募金7万9852円が寄せられました。

12月はじめに、安井正和事務局長が山口さんに被災地キャンペーンへの協力をお願いしたところ、映画関係者の集まりや、都内の民主団体のパーティー会場などで訴えるなど、80人以上から募金が集まりました。

山口さんは、「訴えれば誰もが応えてくれます」と語っています。



【大阪原水協】 拡大担当常任理事会以降、1300本普及増！

本日、大阪は昨年のカレンダー普及数(募金を含む)を109本超え、合計4325本となりました。岩田理事長の声にこたえて、大阪府の保険医協会が数本ずつ増やし続けていたり、NPT代表団に参加した医師が取りまとめたくださったり、役員はみんな必ず5本、10本と持ち歩き、いつでもどこでも訴え、被災地カレンダー募金は地域原水協が加盟団体に声をかけ、20本、30本分と募金を集めてくれた結果です。

【被災地からカレンダー贈呈へのお礼の電話】

宮城県に送った被災地カレンダーを配布してくださった、登米市の小野寺さんより、お礼のお電話いただきました。「いただいた300本のカレンダーは、先の目途が立たず仮設に取り残されたままの方、子どもを津波で失った方、心に痛みが残っている方、新たな住まいに移動したが落ち着かないという方、生活困窮者などに配ることができました。全国のみなさんに心から感謝します」とのことでした。